

28年7月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年7月1日～ 28年7月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は11社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 11.1	△ 11.1	△ 11.1
	マツ	△ 27.8	△ 33.3	△ 38.9
	広葉樹	△ 25.0	△ 5.0	△ 10.0
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 18.8	△ 12.5	△ 18.8
	マツ	△ 33.3	△ 38.9	△ 38.9
	広葉樹	△ 20.0	△ 30.0	△ 20.0
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 11.1	△ 11.1	△ 11.1
	マツ	△ 35.0	△ 40.0	△ 45.0
	広葉樹	△ 36.4	△ 27.3	△ 27.3

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/7月	8月	9月
スギ・ヒノキ	11.1	5.6	5.6
マツ類	5.0	5.0	5.0
広葉樹	△ 4.5	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格はスギ・ヒノキ及びマツ類は、やや強含みで推移。広葉樹は7月のやや弱含みが、8月、9月は横ばいに。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・スギは、再生事業により入荷増。マツは再生事業で入荷安定。広葉樹は天候回復で入荷増(東北)。
- ・毎年のものであるが、この時期(夏場)入荷はピーク時の半分くらいしか入らない(関東)。
- ・仕入れ良好だが、雨期の影響が心配。消費、在庫は変動なし(中国)。
- ・伐採時期は悪くなっているが、仕入れは安定。消費は横ばい。在庫も横ばい(四国)
- ・梅雨の影響か、6月は少なめの入荷、今月も雨が続き少なめの入荷。6月からはフル生産、消費は順調。入荷少なめでフル生産のため在庫は減少(九州)。
- ・広葉樹材が入らない。仕入れに応じた生産(九州)。
- ・梅雨の影響か6月は少なめの入荷。今月も中旬までは雨が続くので少なめの入荷。6月からフル稼働で生産、丸太消費は順調。丸太在庫は減少(九州)。

(原木価格)

- ・燃料用チップ材価格やや上昇(東北)。
- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・九州の一部地域では、発電用間伐材などの丸太価格を下げるとの話が聞かれる(九州)。
- ・しばらくは変化なく仕入れする予定。九州の一部で発電用間伐材等の丸太価格を下げるとの話を聞く(九州)。

28年7月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 18.8	△ 18.8	△ 18.8
	マツ類	△ 38.9	△ 38.9	△ 36.1
	広葉樹	△ 25.0	△ 27.8	△ 16.7
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 16.7	△ 16.7	△ 11.1
	マツ類	△ 35.0	△ 35.0	△ 35.0
	広葉樹	△ 15.0	△ 18.2	△ 9.1
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 28.6	△ 28.6	△ 28.6
	マツ類	△ 31.3	△ 31.3	△ 37.5
	広葉樹	△ 22.2	△ 22.2	△ 27.8

・木材チップの生産、出荷及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	28/7月	8月	9月
スギ・ヒノキ類	△ 5.6	△ 5.6	△ 5.6
マツ類	△ 5.0	△ 5.0	△ 5.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格はスギ・ヒノキ及びマツ類は、やや弱含みで推移。広葉樹は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・広葉樹は、入荷量の増加に伴い出荷量も増加(東北)。
- ・製紙会社はこの時期、休転があり、チップの出荷は針葉樹・広葉樹共に減少気味。
- ・変動なし(中国)。
- ・生産・出荷・在庫横ばい(四国)
- ・受注は順調だが丸太在庫の減少で、8月、9月頃にはチップ生産にブレーキがかかるかも、特に広葉樹(九州)。
- ・製紙用広葉樹チップは原木の入荷に応じて生産(九州)。
- ・受注は順調だが、丸太在庫の減少で8月、9月頃にはチップ生産にブレーキがかかるかも、特に広葉樹(九州)。

(木材チップ価格)

- ・価格変わらず(東北)。
- ・輸入チップの値下がりがあると、国内チップも値を下げられる可能性あり。
- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・しばらく変化なし(九州)。
- ・しばらく変化なし(九州)。